

ポーランド政治クロノロジー(2011年2月)

月	内政	外交
2月	<p>1日 コモロフスキ大統領, 民営・私有化改正法案に署名。</p> <p>1日 下院立法委員会, 法と正義(PiS)提出のロシア側事故報告書に対する非難決議を否決。</p> <p>2日 コモロフスキ大統領, 2011年度予算法案に署名。</p> <p>2日 政府の政治基金創設法案に対し, 農民党(PSL), PiS, 民主左翼連合(SLD)が批判。</p> <p>4日 下院, クリフ国防相不信任案否決(賛成票 194, 反対票 234 票)。</p> <p>4日 下院, 高等教育改革法案を可決。</p> <p>4日 「ポーランドが最も重要(PJN)」, 同名での政党登録を申請。PJN 経済プログラムを発表。</p> <p>6日 コモロフスキ大統領, 公共放送による選挙期間中の政党広告を禁止する改正法案に署名。PiS, 同改正に反対し, 欧州議会に提起, 憲法裁判所に異議申し立てを行うと主張。</p> <p>9日 ボニ首相補佐官, 公開年金基金政府改革法案を3月上旬に下院に提出する予定と発表。</p> <p>9日 PiS, サビツキ農相に対する不信任動議提出を示唆。</p> <p>10日 トゥスク首相, OECD加盟国の教育に関する報告において, ポーランドの学校教育レベルが上位に位置したことを評価。</p> <p>10日 ベングジン市民プラットフォーム(PO)議員, 性差別発言で謝罪。</p> <p>10日 鉄道組合による政府抗議活動(於:カトヴィツェ)。</p> <p>11日 PiS, 公的医療サービス・プログラム発表。</p> <p>14日 トゥスク首相, オレインスキ中央統計局長を解任し, ヴイトコフスキ同局次長を局長代行に任命。PiS は, 政府に説明を要求。</p>	<p>2日 ポーランド外務省, 「ベラルーシとの連帯」ドナー国会議開催(於:ワルシャワ)。</p> <p>3日 ヤヌコーヴィチ・ウクライナ大統領, ポーランド訪問(-4日, 於:ワルシャワ, グダンスク)。</p> <p>3日 トゥスク首相, ヴィシェグラード諸国及びブルガリア首相及びルーマニア大統領, バローゾ欧州委員会委員長による会合に出席(於:ブリュッセル)。</p> <p>3日 G6 内相会合開催(於:クラクフ)。</p> <p>3日 ホルダー米司法長官, ポーランド訪問(於:クラクフ)。</p> <p>3日 レヴァンドフスキ欧州委員会委員(予算・財政計画担当), ポーランド訪問。</p> <p>4日 トゥスク首相, 欧州理事会に出席。</p> <p>4日 シコルスキ外相, ミュンヘン安全保障会議に出席(-6日)。</p> <p>7日 ワイマール・トライアングル首脳会合開催(於:ワルシャワ)。</p> <p>7日 ミューラー在欧米空軍副司令官, ポーランド訪問。</p> <p>9日 ミレル内務行政相, 政府専用機墜落事故調査委員会の報告書完成は, 6週間程度遅れる見込みと発表。</p> <p>10日 アレクセイエフ駐ポーランド露大使, カティンの森事件犠牲者の名誉回復は既に政治的に決定され, 法的な形式を模索している段階と発言。</p> <p>10日 クリフ国防相, モンテネグロ訪問。</p> <p>11日 外務省, 独連邦議会在「ドイツ人追放犠牲者記念日」制定決議案を採択したことを批判する声明を発表。</p> <p>11日 クリフ国防相, クロアチア訪問。</p> <p>14日 スカルプヘイジンソン・アイスランド外相, ポーランド訪問。</p> <p>14日 第5回ポーランド・ウクライナ国会議員会合開催(-15日, 於:キエフ)。</p> <p>15日 トゥスク首相, ヴィシェグラード・グループ首脳会合に出席(於:ブラチスラヴァ)。</p> <p>15日 ロストフスキ財相, EU 経済・財務相理事会に出席(於:ブリュッセル)。</p> <p>15日 グッテンベルク独国防相, ポーランド訪問。</p>

<p>15日 ロストコフスカPJN代表, 今秋の議会選挙後にPOとの連立協力は可能と発言。</p> <p>16日 ノバク大統領府次官, 今秋予定の議会選挙の日程について, 3月上旬にも選挙日を発表する見込みである旨述べる。</p> <p>17日 PiS, 記者会見において, 失業対策等, 下院において, 社会・経済問題についての議論を行う必要性を訴える。</p> <p>18日 SLD, 政府に体外受精に関する政府予算計上について議論を進めるよう要求。</p> <p>21日 POのトゥスク首相(党首)とスヘティナ下院議長, 会談を行い, 議会選挙候補者名簿や今後の党方針について協議。スヘティナ議長, 党内不和の噂を払拭, 双方で重要事項について合意に達した旨説明。</p> <p>22日 政府, 原子力発電所を建設する法改正案を承認。</p> <p>23日 コモロフスキ大統領, 3歳までの育児を支援する法案に署名。</p> <p>24日 コモロフスキ大統領, 議会選挙の投票日について, 選挙管理委員会と協議。</p> <p>24日 首相府, 議会選挙までに早急に取り組むべき36法案リストを発表(同リストには公開年金基金, 教育, 家族政策等が含まれる)。</p> <p>26日 PiS主催による民主主義・人権に関する討論会開催。カチンスキ党首は, ポーランドは野党の自由が制限されているとして, ポーランド民主主義の脆弱性を主張。</p> <p>28日 PJN, トゥスク首相のイスラエルにおける記者会見において, アラブスキ首相府首席補佐官が, PAP記者に対し, ユダヤ人財産返還問題について質問をしないよう指示していたとして, 同補佐官の辞任を要求。</p> <p>28日 トゥスク首相, 選挙前の内閣改造の意向がない旨発言。</p>	<p>16日 コモロフスキ大統領, リトアニア訪問。</p> <p>16日 パヴラク副首相兼経済相, クロアチア訪問。</p> <p>16日 シコルスキ外相, 欧州議会訪問。</p> <p>16日 レーン欧州委員会委員(経済・通貨問題担当), ポーランド訪問。</p> <p>17日 クリストフスキス・ラトヴィア外相, ポーランド訪問(-18日)。</p> <p>17日 露「リア・ノーボスチ」社, 露専門家によるポーランド政府専用機の墜落事故に関する記者会見を実施。</p> <p>18日 ロシア検事局のポーランド政府専用機の墜落事故調査委員会, 調査状況に関する記者会見実施。</p> <p>21日 コモロフスキ大統領, チェコ訪問(-22日)。</p> <p>22日 外務省, リビアにおけるデモ参加者に対する当局の弾圧に関して, 非難声明を发出。</p> <p>22日 ドヴギェレヴィチ欧州担当閣外大臣, EU外務理事会・総務理事会に出席。</p> <p>22日 ポーランド・露・独下院外交委員会会合開催(於: カリーニングラード)。</p> <p>23日 トゥスク首相他, ポーランド・イスラエル政府間協議のため, イスラエル訪問(-24日, 於: イェルサレム)。</p> <p>23日 デルクール・ベルギー軍統合参謀総長, ポーランド訪問。</p> <p>23日 パタロング特殊作戦軍司令官, 特殊部隊専用の飛行隊が来年末までに創設されると発表。</p> <p>24日 クリフ国防相, バラク・イスラエル副首相兼国防相と, 防衛協力の発展に関する宣言に署名。</p> <p>24日 ヴウォソビィチ国防次官, EU非公式国防相会合に出席(-25日, 於: ブダペスト)。</p> <p>24日 オルブリヒト国防省事務局長, デ・ホーランダーNATO・C3Agency 総合マネージャーと先端技術に関する協定に署名(於: ハーグ)。</p> <p>25日 トゥスク首相, ノルウェー訪問(-26日)。</p> <p>25日 グリシチェンコ・ウクライナ外相, ポーランド訪問。</p> <p>25日 下院, ポーランド・露対話と和解センターの設立に関する法案を可決。</p> <p>28日 シコルスキ外相, 訪米(-5日)。</p> <p>28日 ウクライナ国会議員団, ポーランド訪問(-1日)。</p>
--	---